

五分館だより

第80号

豊丘村公民館
第五分館
編集/社会部
印刷/燦プランニング

堀越の今日

平成24年4月現在
戸数 83戸
人口 322人
(男155 女167)

高鳥谷神社第4鳥居新築

4年前の雹害で倒れた高鳥谷神社第4鳥居が、このたび新しく建立されました。河野区、堀越区両委員で完成祝と例大祭のお祭りが盛大に行われました。



4年前の雹害の出た大風で、神社最上段に建っていた第四の鳥居が倒れてしまいい、新しい鳥居を建立したいという話しが出ていました。

栗の木を寄付していただける方を捜していた所、中宮の田島豊さんと区長より南平に手頃な栗の木があり切り出しても良いと話があり、昨年の九月に三本切り出し、河野区の吉山建築さんの所に預かって頂いておりました。

今年一月の「高鳥谷神社管理委員会」で、特別会計で建立する事が決定されました。三月二十四日(土)の

朝から河野区長、堀越区正副区長、社会委員三名、前社会委員長の三澤重洋さん吉山建築の合計八名で、材木を神社まで運び上げ、無事建立する事が出来ました。五月五日の例大祭には、河野区より区の委員ほぼ全



員の二十数名、堀越区より委員全員の約四十名出席して盛大なお祭りが出来ました。

来年の初詣にお越しいただき、見ていただきたいと思ひますので宜しくお願ひ致します。

社会委員長 河野通久

分館長就任の挨拶 新人でスタート

福島 昭治

平成二十四・二十五年度分館長という大役を、区総会の改選で選出されました。分館長という器ではありません。前任者の宮下さんは優秀な方でした。その後任という事で大変なプレッシャーです。しかし役員の方々が皆優秀で行動力のある人達で安心して公民館活動が出来ると思っています。二年間役員全員で力を合

わせ思いやり、かばいあい楽しく区民の皆様に喜んで御挨拶と致します。

区委員退任の挨拶

田島 康嘉

十八年間区委員として御世話になりました。この場をお借りし御礼申し上げます。

長期に渡り続けて来られたのも、偏に区民の方々の協力があったの事だと思っております。

これから、区民の一員として、出来る事を行っていきたく思います。

大変お世話になりましたが今後ともよろしくお願ひ致します。

区委員退任にあたり

久保田 一弘

堀越区の委員として十年間お世話になりましたが、本年度の総会を持ちまして退任する事となりました。

未熟な者ではありましたが何とか大過なく今日を迎えることが出来ましたのも、皆さんの支えがあったからこそと感謝の気持ちで一杯です。

心よりお礼を申し上げます。今後は任期中の教訓と経験を活かして行きたいと思ひます。大変お世話になりました。

区委員に就任して

西元 敏明

今年の区の役員選挙で委員に選出され、総務係の庶務を勤めております。誠に微力ではありますが、精一杯努めてまいりたいと考えています。

四ヶ月が経過した委員活動では、山間協議会に参加し、鳥獣対策の防護柵設置事業や廃屋対策等々、山間地域が抱える課題を再認識すると共に、当区の観光事業を始め様々な事業に携わ

る者として重責を痛感してはいますが、幸い良き先輩に恵まれておりますので、手本にして勉強してまいりたいと思ひます。

最後に、「堀越ってどんなところ」と聞かれたら、先ず、「松茸観光事業という先人が残した素晴らしい財産があり、これが地域活性化をもたらしているよ。」次に、「樹齢四百年の笹見平の枝垂れ桜や大沢の山桜など風光明媚な所があるよ。」また、「農産物も西日で育まれたふじりんごや手作りの干し柿がおいしいよ。」更に、「家族総出の運動会、球技大会や伝統的な獅子舞、神楽の祭りもあり地域の繋がりがいいよ。」と自慢話ができます。

こんな堀越の一員として、地域に少しでも貢献できたいいなと考へます。

簡単ではありますが、区委員就任の御挨拶と致します。

委員就任の御挨拶と致します。

この人紹介

三枝樹家宜しく

お願いいたします

胡芝 三枝樹 法

昨年四月より胡芝地区に住まわせた戴いております。入居後三子目に生まれ、今年一月に自宅にて自然出産いたしました。

こちらに移住する前はイベントにパンを出店しておりました。本格的に石窯パン屋を始めよう準備を始めた。

しかし、時ばかり過ぎいつ実現できるのやら...という状態です。

三重県四日市出身でインド遍歴、関東在住を経て四年前に伊那谷へ転居しました。私、名を法(だるま)と申し僧侶として年間十数回三重県と関東へ赴きます。日々の仕事としては野良仕事をしております。見習い百姓として田、畑、大工等諸々の仕事に手をつけるのですが師匠のいない見習いでさっぱり仕事になつていない状態で、お師匠を探しているところです。

農的生活四年目、自給自足からは程遠いのですが、僧侶II乞食です。皆様がいろいろな恵みを感じて生活費は驚くほど低いと思えます。日々の生活の中でエネルギー、糞尿を含めてなるべくゴミを出さない事を最重要項目としています。で、いわゆる現代的な生活とはかけ離れたライフスタイルをとっています。

0歳児もいる五人家族です。取り入れませんが戦後ニッポンの流れとは逆行しているようです。理想は理想で現実にはネエ。家族もいるんだから...税金も払えん生活では...などなど周りからご批判を頂きつつ幾年月。



今、多くの若い家族が伊那谷また豊丘村に入植してきています。そのほとんどが家族が「お百姓」を志しているようです。温故知「心」三・一災害を機に世界は伊那谷のような地域の心、また生活の知恵を学ばなければ生きていけない時代になつてきていると思つています。

高度経済成長の恩恵に浸りきつて育つてきた世代としてこれからは衰退、縮小の悲しさ侘しさ、不安を身と心に真つ向から受け止めるながら、のほほんと生活できるよう精進したいと思つています。

合掌

平成23年度第五分館決算書

収入計金 1,726,302
支出計金 1,482,715
差引計金 243,587

収入の部

Table with 6 columns: 項目, 23年度予算額, 23年度決算額, 差引増減, 備考. Rows include 前年度繰越金, 区より補助金, 本館より補助金, 本館事業助成金, 本館事業助成金, ビール販売6本, 弁当代, 貯金利息, 収入計金.

支出の部

Table with 6 columns: 項目, 23年度予算額, 23年度決算額, 差引増減, 備考. Rows include 地域美化運動, 自治会対抗球技大会, 納涼大会, 各種大会参加費, 文化・学習活動費, 育成会助成金, 分館だより制作費, グループ活動助成金, 区民運動会, 備品購入費, 事務・会議費, 役員手当, 役員反省会費, 公民館補償保険, グランド整備費, 本館役員交流会費, 文化祭, 予備費, 支出計金.

平成24年度第五分館予算書

収入計金 1,620,587
支出計金 1,620,587
差引計金 0

収入の部

Table with 6 columns: 項目, 23年度予算額, 24年度決算額, 差引増減, 備考. Rows include 前年度繰越金, 区より助成金, 本館より助成金, 本館事業助成金, 本館事業助成金, 本館事業助成金, 貯金利息, 諸収入, 収入計金.

支出の部

Table with 6 columns: 項目, 23年度予算額, 24年度予算額, 差引増減, 備考. Rows include 地域美化運動, 夏季スポーツ大会, 納涼大会, 各種大会参加費, 文化・学習活動費, 育成会助成金, 分館だより制作費, グループ活動助成金, 区民運動会, 備品購入費, 事務・会議費, 役員手当, 役員反省会費, 公民館補償保険, グランド整備費, 本館役員交流会費, 文化祭, 予備費, 支出計金.

平成24年度事業計画

- 6月3日(日) 桜の手入れ草刈り
7月1日(日) グランド整備
7月15日(日) 夏季スポーツ大会
7月28日(土) 納涼祭
8月15日(水) 分館対抗球技大会
9月2日(日) 桜の手入れ草刈り
9月2日(日) マレットゴルフ大会
11月3日(土) 文化祭
2月2日(日) ボーリング大会
2月2日(日) 冬期スポーツ大会(本館)
3月3日(日) 公民館学習会(本館)
3月3日(日) 美化運動

黒谷箕

五月二十一日(月)、長野県では一七三年ぶりとされる「金環日食」が観測された。

「金環日食」とは月が太陽の顔を横切ることにより、太陽が光のリングのように見える現象で、太陽と月と地球の微妙な距離によって起こる。

太陽の全体を隠してしまうのが「皆既日食」。前回は二十五年前、その時は沖縄で観測されただけで、今回のように日本のはほぼ全域で観測できることは非常に珍しい。

テレビなどのメディアでも早い時期から注目され、観測に使用する「日食グラス」は飛ぶように売れ、品切れ状態のところも多かったようです。

ここ堀越でも、雲の多い空となったものの、午前七時頃には太陽が顔をだし、七時三十分頃には見事な「太陽のリング」を観察することができました。

次回、長野県で金環日食を観測できるのは十九年後。今年も他にも、六月に月食(地球が月と太陽の間に入り、地球の影が月を隠す現象)と金星食(金星が太陽を横切る現象)が見られ、天体ショーの当たり年だそうです。

社会部 林修